

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(令和2年 9月30日)

事業コード	R2-建-継-05		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道398号		担当課長名	道路課長 浅井 学
箇所名	湯沢市稲庭		担当者名	副主幹(兼)班長 渡部 寿
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ R7(15年)	総事業費	37.5 億円	国庫補助率	59.0	
事業規模	○延長L=4,530m 幅員W=6.5(9.5)m(1.50+3.25+3.25+1.50)m					
事業の立案に至る背景	○国道398号は宮城県石巻市から栗駒国定公園、小安峡温泉郷を通り由利本荘市へ至る主要幹線道路であり、湯沢市中心部および横手市からそれぞれの観光地へのアクセス道路でもある。当該地区は「稲庭うどん」の生産地でもあり、多くの観光客が訪れているが、計画区間は幅員が5.5m以下の区間が全体の72%に及ぶことから、車両の走行性に支障をきたしている。また、歩道が整備されていないため歩行者は常に危険と隣合わせで通行しなければならず、通過交通と地域内交通を分離するバイパスとして早急に整備することで、それぞれの安全な交通区間を確保するものである。					
事業目的	○車両のすれ違い困難箇所の解消 ○安全な歩行空間の確保 ○広域観光支援のためのアクセス道路の整備 ○第二次緊急輸送道路としての機能確保					
事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事 業 費 経 費	業 費	2,326,000	3,746,000	1,420,000	橋梁延長の増 盛土材料の購入による増
		工 事 費	1,630,000	3,017,000	1,420,000	
		用 補 費	405,000	405,000	0	
	財 源 内 訳	そ の 他	291,000	291,000	0	国庫補助率の変更による
		国庫補助	1,628,200	2,210,140	581,940	
		県 債	662,900	1,382,360	719,460	
そ の 他						
事 業 内 容	34,900	153,500	118,600			
事 業 内 容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工				
事業の進捗状況	○令和元年度末で事業進捗率34%(用地進捗率48%) ○令和2年8月に起点側1,350mを部分供用開始					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○湯沢市総合振興計画					
情勢の変化及び長期継続の理由	○特になし					
事業効果把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率				
	指 標 式	整備率 (整備済み延長/路線実延長)				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	94.0 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実 績 値 b	94.1 %		把握の時期	令和2年4月	
達成率 b/a	100.1 %					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当路線は稲庭地区の生活道路であるとともに、観光拠点を結ぶアクセス道路であるため交通量が多く、車両のすれ違いが困難であるほか、十分な歩行空間も確保されていない。 ○堆雪幅が確保されていないため、冬期は交通空間がさらに減少する。 	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路指定されているが、死傷事故が発生しており、安全な歩行空間の確保が急がれる。 ○当該工区の南側は部分供用しており、一連の効果を発揮するため、残区間も早期に整備する必要がある。 	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○観光拠点を結ぶアクセス道路が整備されることで、地域活性化を図ることができる。 ○通過交通が生活道路と分離されることにより安全な道路を確保できる。 ○第二次緊急輸送道路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 	26点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は1.43であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 55.5億円 ・総費用の現在価値 38.8億円 ○発生土を盛土材に使用しコスト削減を図っている。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度末の事業進捗率は34%である。 	10点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III)	86点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード (R2-建-継-05)
 箇所名 (湯沢市稲庭)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	8	・車道幅員5.5m以下 ・最小半径20m ・冬期堆雪中なし 3箇所
		・車道幅員<5.5m	2箇所	5		
		・最小半径<100m	1箇所	3		
		・最急勾配>4%	該当箇所なし	0		
		・冬期堆雪中なし				
	道路環境上の欠陥該当項目	・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 ≤ 30 km/h	3項目該当	7	7	・混雑度1.03 ・現道の事故率111件及び 重大事故が発生 ・通学路指定で歩道なし 3項目
		・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生	2項目該当	5		
		・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	1項目該当	3		
			該当項目なし	0		
計			15	15		
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	5	5	秋田県道路整備プログラム 秋田県国土強靱化地域計画 湯沢市総合振興計画
		・県の主要プロジェクト	なし	0		
		・地域振興プロジェクト				
		・ほ場整備等の他事業				
	緊急度の高い課題の有無	老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保	あり	5	5	現況交通量に対し、規定の 車道幅員が不足
		冬期通行不能区間等	なし	0		
	同一路線の整備状況	整備済み		5	5	
		未整備		0		
		計		15		
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6	第2次緊急輸送道路
		第2次輸送道路	6			
		第3次輸送道路	4			
		指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	7	5	雄勝中央病院	
		アクセス性向上に貢献	5			
		アクセス性向上への貢献が小さい	3			
	観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献	7	7	稲庭うどん 栗駒国定公園 小安峡温泉郷	
		活性化に貢献	5			
		活性化への貢献が小さい	3			
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	部分供用済み（R2年8月） 湯沢横手道路へのアクセス 強化	
		必要性に変化はない	6			
		必要性が低い	4			
		必要性が著しく低下	0			
計			30	26		
効率性	事業の投資効果等	費用便益比（B/C）	1.0以上	5	5	1.43
		1.0未満	0			
	計画交通量	4,000台/日以上	5	5	5,100～6,500台/日	
		1,000台/日以上～4,000台/日未満	3			
		1,000台/日未満	0			
	コスト削減	あり	5	5	発生土を盛土材として利用	
		なし	0			
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	大規模バイパス	
		既投資額の部分的損失	4			
		既投資額の損失が少ない	3			
計			20	20		
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗（事業費）	8割以上完了	10	5	34%
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗（面積）	8割以上完了	10	5	48%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		未着手	0			
計			20	10		
合計				100	86	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		